

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 4月15日

事業所名:きららkids奈良

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	0	・適切な定員数で、スペースを分けて工夫している。	
	2 職員配置数は適切であるか	15	0	0	・子ども1〜2名に対して職員が1人配置されているため、必要に応じて個別対応も可能である。 ・適切だと思う。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	2	0	・自由に遊べる空間では、おもちゃと、電車、積み木、運動、絵本コーナーのように遊びの目的別に分けている。トレーニングルームでは、子どもが集中できるように、おもちゃや装飾のないシンプルな環境を設定している。	現状利用者個々の障害特性に合わせ環境整備や視覚支援等を行っているが、より一層きめ細やかに対応(支援)を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	0	・子どもが帰宅後、おもちゃをアルコール消毒している。 ・トイレの仕切り板をなくし、マットを敷いて介助しやすした。 ・閉所後の掃除に加え、コロナ渦は1日2度の消毒やトイレ掃除をしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2	2	複数人の職員のみで進めることが多くある。振り返りが全員出来ていない状態なので、次への目標も立たなくなっていると思う。	ミーティングや意見交換の場を設定し幅広く職員が参画できるように改善する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	2	0	改善できている点はできていると思う。保護者の意向がどうものがあるかが把握しきれていない。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	2	3		ホームページ等で毎年度公表しているが周知不足が考えられる。全職員に周知できるように改善を行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	3	2	・分からない。	将来的には第三者による外部評価が行えるように検討中です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	0	1	・てんかん発作が起きた時の対応や、療育におけるアナログゲームの効果的な活用方法を学んでいる。 ・定期的に研修を開いている。 ・1日の業務に追われ時間を確保できていない。 ・できていないことが多い。	職員の資質向上のための研修会等が実施できるように業務負担の見直しを行い、時間の確保ができるように改善していく。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	15	0	0	・複数の職員から子どもの様子を聞き、これまでの成長と今後の課題について、多面的な視点からアセスメントを行っている。	コロナ禍で面談実施できていないが、蔓延・終息状況を見極めつつ他手段(通信手段等)の活用も視野に入れ実情に則した支援計画を作成していく。
	11	10	2	2		・CBCL(Child Behavior Checklist) 子どもの行動チェックリストや、S-M社会生活能力検査などを用いて、子どもの適応行動の状況を客観的に理解していけるよう取り組む。
	12	13	1	0		
	13	14	1	0	・子どもの課題に応じた感覚遊びやアナログゲーム、集団遊びなどを行っている。	
	14	13	1	1	・大まかなものを決め、他は個人でプログラムをくんでしまっており、引きつぎができていない。 ・全体には話し合うが、個々まではできていないところもある。	活動内容充実のためモニタリング会議の回数を増やすことのみならず、質的にも充実させるため一部職員に留まることなく広く職員各位の意見聴取ができるように改善していく。
	15	14	1	0	・これまでの活動プログラムを記録し、継続して行うものもあれば、新しく追加して行うものもある。 ・工夫していると思う。	
	16	15	0	0	・子どもの状況により個別活動と集団活動の割合は異なるが、発達に合わせて両者をバランスよく組み合わせながら計画を作成している。 ・個別療育やグループ療育、運動療育ともに適宜行っている。	
	17	12	2	0	・支援内容や役割分担だけでなく、こどもの様子も職員間で共有している。 ・午後の開始前の打ち合わせがあまりないので、あるのが望ましいと思う。 ・午後の活動分ができていない点が多かったので分けてするようになってから一段と分かりやすくなった。	午前と午後での職員の情報共有にばらつきがみられたので、統一的に情報が共有できるように改善していく。
	18	12	1	1	・自分が直接対応しなかった子どもの様子を他の職員から聞いたり、子どもの対応で困ったことを相談したりするなど、積極的な情報交換を行っている。 ・共有とまではいっていない。 ・共有している部分とできていないところがある。	非常勤職員を含めた全職員間で情報共有・情報周知できるようにミーティングの内容やタイミング等の改善を行う。
	19	14	0	0	・トレーニングの様子だけでなく、些細な行動の変化も記録することで、支援の改善につなげている。 ・記録やモニタリングに参加している。	
20	13	1	0	6ヶ月のモニタリングを機会としては見直されているが、適宜という視点ではできていない。	定期的には達成できている。以後は児童の発達や変化に合わせて適宜、見直しができるような体制づくりができるよう取り組む。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	11	1	1		適切な職員が現地に赴けるように、事業所内の人員配置を見直せるように改善していく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	2	0	・行っていると思うが、自分が全部把握できていない。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	3		医ケア児、重心以外の事業所の為、未実施
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	3		医ケア児、重心以外の事業所の為、未実施
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	2	1	・そこまではできていない ・今後保育所訪問支援でできていくのかと思う。	来年度より保育所等訪問支援のサービス提供を開始するのでその中で取り組む予定。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	1	・そこまではできていない	来年度より保育所等訪問支援のサービス提供を開始するのでその中で取り組む予定。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	0		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	8	・他の園の児童たちと交流を行ったことはない。 ・散歩の時に他の保育園の園児と一緒にいることはあるが活動とまではいかない。	保護者ニーズ等を踏まえ今後の実施の可否を検討していく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	4	3		実施されれば積極的に参加しているが今年度はコロナウイルス感染症の影響により未開催。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	1	・子どもの課題を伝えるだけでなく、その子の強みや成長した点なども伝え、子どもの総合的な発達についての共通理解を持っている。 ・伝え方が難しく悩むので、もう少し共通理解できる場・時間を設けてほしい。	「発達の状況や課題について」の深い共通理解が持てるように改善していく。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	1	3	・できていない。 ・ペアトレまでとはいかないが・・・。	・ペアレント・トレーニングは保護者の負担が大きく、途中でやめてしまう方も多いため、親子のニーズに合わせてプログラムの内容を見直し、気軽に参加してもらえるように工夫をし、実施できるように改善していく。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	1	・していると思うが、直接話をしていないので分からない。」	契約時に保護者に対しては丁寧に行っているが、職員間では周知不足が考えられる。全職員に周知できるように改善を行う。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	2	0	・共感して聴くだけでなく、必要に応じて制度の説明をしたり、他の相談機関を紹介したりしている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	7	・保護者会等はない。	保護者ニーズ等を踏まえ今後の実施の可否を検討していく。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0		
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0	0	・活動内容をイメージしやすいような写真を載せた会報を発行し、各家庭に毎月郵送している。 ・手紙(きらら通信)だけで他の情報の発信はできていないのか。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0	0	・資料は鍵をかけて保管し、シュレッダーで処分している。 ・シュレッダーにかける、注意書き等で喚起し、注意している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1	0		
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	8	・行っていない。 ・行事はあまり行っていない、近所のおもちゃ屋さんに行くぐらい。	保護者ニーズ等を踏まえ今後の実施の可否を検討していく。	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	1	0	・地震・火災はしているが「防犯」という視点での訓練はしていない。 ・避難訓練のみなので、他の訓練が十分でないので検討が必要かも。	今後、不審者対応などの「防犯」面での訓練が必要か検討していく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	0	・緊急地震速報の音を実際に鳴らし、発生時と近い状況で訓練を行っている。 ・定期的に避難訓練を行っている。 ・子どもに分かりやすい予告ボードで視覚化している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	0	0		
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	2	0	・保護者蚤の確認なので、指示書を必要とするか検討していてもいいかもしれない。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
71	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1	1		・事例集の作成を行う。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1	1		・年に1度は虐待研修を行えるように対応していく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	2	1		・やむを得ず身体拘束を行う場合は児童発達支援計画に記載していくように取り組む。